



国際ロータリー第2670地区

高松西ロータリークラブ

The Rotary Club of Takamatsu West



Weekly Report 2016-2017

創立	1969年4月14日
承認	1969年4月23日
チャーターナイト	1969年11月9日
発行	IT・広報委員会

会長	鏡村 泉	原上 谷	良義 正	則憲 紀
幹事	エレクト	遠藤 直	藤井 樹	樹 康
副幹事	S.A.A	稲 井		



今週のプログラム	第2309回	1月20日
卓話:「私の実践<新たな挑戦>」吉岡会員		
担当者	職業奉仕委員会	例会場 JRホテルクレメント高松

先週のプログラム	第2308回	1月13日
メンターデイ 伊賀会員		
担当者	プログラム委員会	例会場 JRホテルクレメント高松



鏡原会長挨拶



遠藤次期幹事報告



メンターデイ:伊賀会員



伊賀・花苑会員を囲んで

会長挨拶

- 今週末はとても寒くなりそうなので、皆様体調を崩されないように注意してください。
花苑陽子会員が回復され久しぶりに出席され大変うれしいです。

例会報告

- 今回より入会されました長尾和樹会員にロータリーの七つ道具が鏡原会長より手渡されました。

メンターデイ・伊賀恭子会員

- 伊賀恭子会員が最近お読みになった雑誌があり、その中で大変気に入った所があったということで、その本を持参されていたので代わりに遠藤会員が代読しました。
その内容は、人間の脳のお話で、脳の中は9つぐらいの番地に分かれており、思考系・感情系・伝達系・運動系・感覚系・聴覚系・理解系・視覚系・記憶系などが存在して、ある程度の年齢になったら衰える一方と思っているが、まだ脳は未

発達な状態でまだまだ皆様の持っている潜在能力を発揮できるそうです。
その力を引き出すには「ありがとう」という感謝の言葉が脳を刺激し、活性化していくということで、皆様もこの「ありがとう」という言葉を大切にしてほしいとのことでした。

メイクアップ

- 1月11日 高松南RC 木内 江島 山崎 池上 泉谷 浅原 岡村 福本 辻 石丸
- 1月12日 高松RC 加藤(潤) 山崎 江島
- 1月12日 高松グリーンRC 石井

出席報告		出席委員長: 浅原尚彦	
会員数 /	52名	出席規準数 /	51名
出席者数 /	25名	欠席者数 /	26名
出席率 /	49.02%	ビジター /	0名
最終出席率 /	12月16日	59.18% →	85.71

1月20日 今日は何の日	今日生まれの有名人名
玉の輿の日・米大統領就任式(4年ごと) 1947年 学校給食開始 1976年 大和運輸(現ヤマト運輸)が「宅急便」を開始	1971年 花田勝 1930年 いずみたく 1955年 太田裕美 1923年 三國連太郎 1931年 中村八大 1885年 尾崎放哉
誕生花	金鳳花(バターカップ)、花言葉は“無邪気”
誕生石	ルビー(ruby)、宝石言葉は“情熱”

それでこそロータリー
どこで会っても やあと言おうよ
見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ
遠いときには 手を振り合おうよ
それでこそ ローローロータリー

例会場 JRホテルクレメント高松
高松市浜ノ町1番1号
TEL(087)811-1111

例会日: 毎週金曜日 12:30~13:30 (第1例会のみ 18:30~19:30)
今週の週報はこちらで見ることが出来ます。(Adobeのacroバトリーダーが必要です)
<http://www.88club.com/rc/2016pdf/01-20.pdf>

事務所
高松市西の丸町10-15
高松ホテル旅館料理協同組合内
TEL(087)851-2661 FAX 851-2662

ニコニコBOX

皆様お久しぶりでございます。お会いできて大変うれしいです。バースデープレゼントありがとうございました。

入会致しました。ありがとうございます。 長尾
いいことがありました。 曾我部

花苑さん快気おめでとうございます。 石川
(前年度プログラム委員会)

新年会、多数のご参加ありがとうございます。 島谷

花苑さんご出席ありがとうございます。 村上
低田さんいろいろとお手数をおかけしました。

遅刻 3件

合計 8 件

本 日 の 合 計 46,500円

2016-2017年度累計 676,500円

1月誕生日の樹

3日 野口一臣 会員 ユズリハ(譲葉)

14日 植田真治 会員 ビワ(枇杷)

16日 辻隆志 会員 ダイオウショウ(大王松)

29日 岡村真史 会員 タチカンツバキ(立寒椿)



記念樹 - 記念日と誕生日365日の+1の樹 - 財団法人経済調査会発行より

例会変更

1月17日(火) 高松東RCは18:30JRホテルクレメント高松に変更

1月17日(火) 観音寺東RCは18:30に変更

1月19日(木) 観音寺RCは1月17日(火)18:30観音寺グランドホテルに変更

1月24日(火) 高松中央RCは12:30四国警備保障(株):職場例会に変更

1月26日(木) 高松グリーンRCはTOTO高松コラボレーションルーム・企業訪問例会に変更

1月31日(火) 高松東RCは12:00高松市美術館に変更

成功者と成幸者・22

会長 鏡原良則

**成功者は人を使おうとし、
成幸者は人に使われようとする。**

成幸者の多くは「人間には生まれてきた使命が誰にもある」と考えているようです。

使命とは「人に命を使ってもらって喜んでもらうこと」です。それが出来ている時、命の喜びを感じるのが、成幸者の幸せのようです。

今日あなたは誰に使ってもらおうとしましたか？

問題解決に導く



John F. Germ

2016-17年度 国際ロータリー会長

親愛なるロータリアンの皆さん、私たちが迎えた2017年は、国連の「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」が2年目の年でもあります。SDGsと呼ばれるこの目標は、最も差し迫った経済、政治、社会に関する課題に取り組んで、世界中の人々が同じように歩めるようにするための17項目からなるリストに関連しています。この取り組みは極めて野心的なものです。それくらいの心構えがなければ問題の解決は困難です。SDGsが目指す最終的な目標は、すべての人々が、平和、繁栄、安全、平等を享受できる世界の実現にほかなりません。

このようなプロジェクトに対し、私たちはどのような取り組みを始めたらよいのでしょうか。ロータリーにおける、私たちの答えは単純明快です。それは「一歩ずつ」進めていく、ということです。これらの目標は、ロータリーにとって新しいものではありません。それらは既に私たちの重点分野にも反映されています。私たちはSDGsの17項目すべてが、ロータリーの6つの重点分野と同様、互いに関連し合っていることを理解しています。清潔な水がなければ健康は維持できません。衛生環境が整っていなければ清潔な水は確保できません。衛生環境を整えば子どもたちは学校へ行くことができ、結果として教育が向上し、ひいては経済の繁栄や健康の向上につながります。地球全体の進歩について語る時、切り離すことができる指標も、目標も、国家も、一つとしてありません。持続性のある真の進展を実現するためにも、共に前進していかなければならないのです。

持続可能性という概念は、SDGsだけでなく、ロータリーの奉仕にとっても鍵となる考え方です。持続可能性とはその名の通り、持続的に発展させるということです。例えば、井戸を掘るだけではなく、その井戸を地域社会が維持できるように工夫するということです。ただ一週間の無料巡回治療(ヘルスクャンプ)を行うというのではなく、現地の医療従事者も養成するということです。持続可能性とはすなわち、家族や地域社会に対して目標達成に必要なツールを提供することで、自分自身の将来に責任を持つ力を与えるということなのです。

持続可能性という概念は、常にロータリーの中心にある考え方です。私たちは112年もの経験を有していますが、今後も活動の幅を広げていこうとしています。私たちのこれまでの活動は、医療や教育、水と衛生、そして言うまでもなくポリオ撲滅において既に変化をもたらしています。

ポリオ撲滅は究極の持続可能な奉仕です。このプロジェクトが終われば世界に永遠の恩恵をもたらすことになります。これらの恩恵は、人類にとって一つの病気を撲滅したというよりはるかに大きいものです。ポリオ撲滅により、毎年およそ10億ドルのコスト削減ができると見積もられています。削減分は公衆衛生の予算に還元したり、ほかの差し迫ったニーズに割り当てたりすることができ、今日の正しい業績を、より健全な将来へとつないでいくものです。

次週のプログラム

第2310回

1月27日

客話:働き方改革実現のための『あしたの人事評価』:(株)あしたのチーム 高松支社 支社長 井上慎也様

担当者 プログラム委員会

例会場 JRホテルクレメント高松